

地域医療を育てる会 情報紙 クローバー

CLOVER



発行表 NPO法人地域医療を育てる会 枝藤本晴
http://iryousodateru.com/
第82号 平成29年5月20日発行
東金市東金1142 「東金の家」内
TEL: 090-7634-7175

みんなが支える「くらしの育ち」

〜不登校も、ひきこもりも〜

「医療と福祉を地域でつなぐ」を合い言葉に、くらしの講演会が開かれました。5回目になる今年のテーマは、子どもの精神医療です。「キャリア療法」を通じて児童・思春期の子どもの治療にあたっておられる杉原正子先生(独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター※ 精神科 医師)にご講演いただきました。そして私たちは家族として、近所の知り合いとして何ができるのかを皆で考えました。



はじめに

先生から、「引きこもり、心の病気に関する偏見を少しでも変えてほしい」というお話がありました。たとえば、「私がうつ病になって患者になり、今は患者である人が元気になって医療者になれば、立場が逆になることだってある」と杉原先生。

一般の方で、精神科に関して、「薬=悪」「入院=悪」のように考える人もいます。が、「不適切な薬の使い方や入院が悪いのであって、すべてが悪いのではない」とのことです。

さらに、「本人が『病気』かどうかを診断することも大切ですが、それよりも『誰が何で困っているのか』『誰が何を、もっと良くしたいと思っているのか』

という視点をより大切にしたい」と先生はおっしゃいました。

青少年に必要なだけ、引きこもりには無い3要素とは

まず、引きこもりとはどんな状態なのでしょう。厚生労働省によれば「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6カ月以上続けて自宅に引きこもっている状態」であり、「時々は買い物などで外出することもある場合も、引きこもりに含める」のだそうです。先生は青少年に必要な

- 3 要素として
- ① 家族以外の多様な仲間
- ② 定期的に通える場所
- ③ 仕事や活動・役割など、

キャリア療法の定義(杉原試案)

①~③を「ひきこもり」の方や、心の病・障害を持つ方等の治療に用いること。

① 継続的な、自身への気づき

② 心から好きで自分らしさを発揮できる仕事・活動・役割を探し、選択する過程

③ その仕事・活動・役割の実践

(図1)

継続的にすること
を挙げています。引きこもりの人には、この3つの要素がないので、先生はここに着目してキャリア療法(図1)の重要性を指摘します。特に「心から好きで自分らしさを発揮できる仕事・活動・役割を探し、選択することがとても重要です」とのことでした。

なぜ、地域住民が重要なのか

杉原先生はこのキャリア療法を実践するときに、地域住民が大切な役割を果たすことが出来るとおっしゃいます。先ほどの、青少年に必要な3大要素と照らし合わせると

- ① 地域住民は年代・立場・仕事・活動・役割などに多様なアプローチができる仲間になれる
- ② 本人にとって地理的に近い存在なので、定期的に通う場所が見つけやすい
- ③ ①と②の条件が良いので、本人のすることが見つかりやすく、継続しやすいといったメリットがあるからです。

また、先生は「なかなか難しいのですけど」と前置きしてから「本人のこ

そして本人のやりた

また、本人が長いこと

そうなんです。例えば入院する

また、イギリスの研究



あなたなら、どんな言葉をかけますか？

地域住民が重要とは

どの参加者も、ペンを

話題を作っていくと良い

(藤本晴枝)

コラム さなぎの会を ご存知ですか

おおきなもりが、ありました。もりには、たくさんのどうぶつたちがいました。どうぶつたちは、げんきいっぱい。でも、ときにははげがをしたり、ぐあいがわるくなったりすることもありました。そんなとき、どうぶつたちは、もりのヤギさんのところにいきました。あるひ、もりに、くまのおいしゃさんがやってきました...

くませんせいの SOS

ルウとポノポノ 各700円(税込)

かわいらしい動物の世界でも地域医療の問題が起こっていました。全年代に向けた文体は読みやすく、全国の公共機関にもご好評いただいている読み聞かせにもぴったりな絵本です。

「地域医療を育てる会」にて取り扱っております。